

# 広沢だより



令和7年度 | 2月臨時号  
京都市立広沢小学校

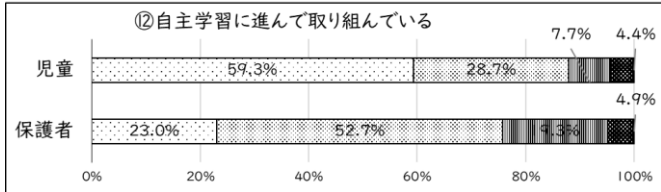
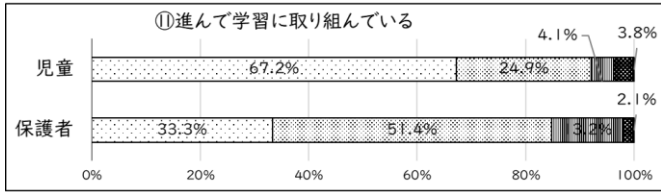
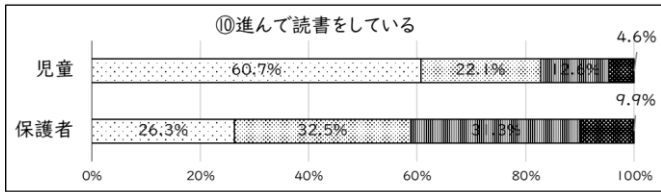
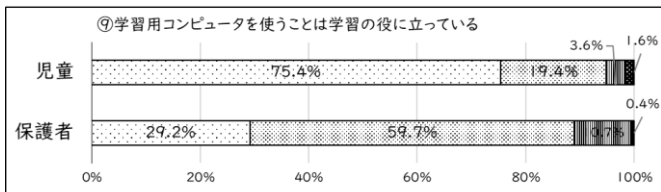
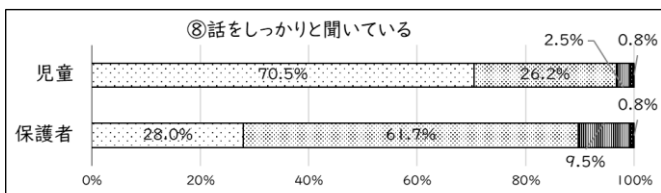
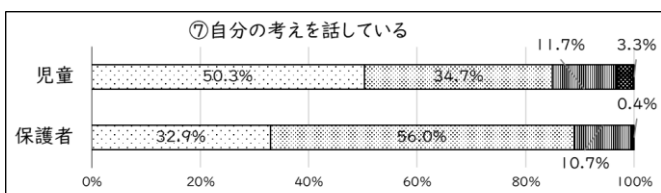
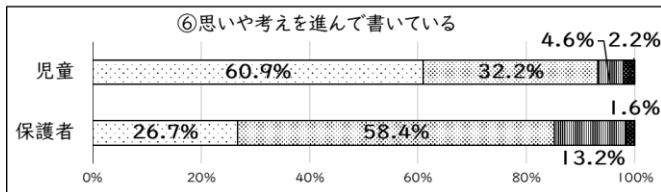
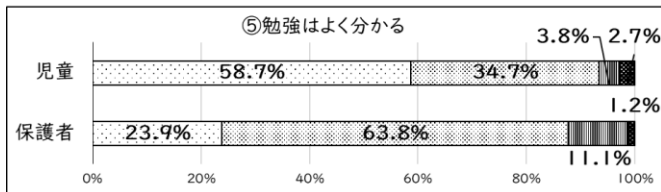
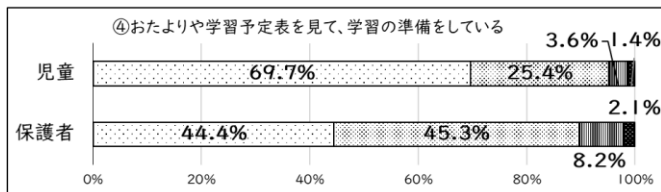
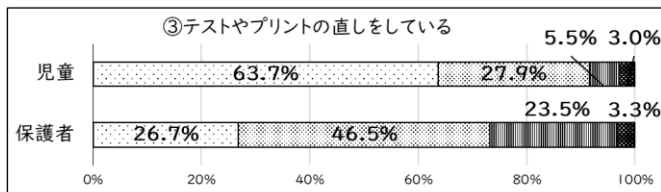
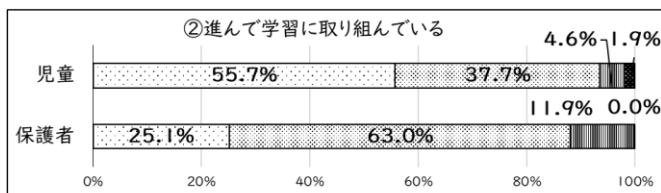
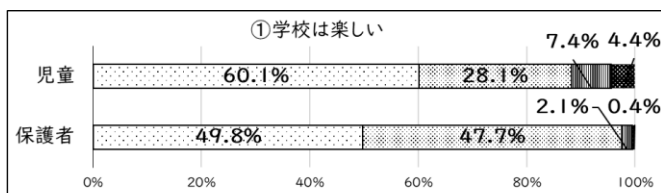
《学校教育目標》未来に向かって、自分らしく笑顔で取り組む広沢の子  
～何事にもしなやかで折れない心(レジリエンス)の育成～

## 学校評価アンケート結果のご報告

7月に「学校評価アンケート」を実施しました。今回は昨年同様、児童・保護者の皆様ともに Forms を活用して実施しました。たくさんの貴重なご意見をいただくことができました。

### 「確かな学力」の育成に向けて

□ そう思う □ だいたいそう思う  
▨ あまりそう思わない ■ そう思わない



### 「確かな学力」の育成に向けて

#### 全体の傾向

「学校は楽しい」「進んで学習に取り組んでいる」「勉強はよく分かる」等に、児童も保護者も「そう思う」「だいたいそう思う」という回答が多く、学習に意欲的に取り組んでいることが分かります。

本校では「レジリエンス力・対話力・自己指導能力の育成～子どもと創る授業力を追求する～」を研究主題のもと、算数科、特別の教科道徳を中心とした校内研究を進めています。自ら進んで自分の思いや考えを伝え合うことで「対話力」が育成できると考えて授業実践をしており、児童は「②すすんで学習している」93.4%「⑥自分の思いや考えをノートに書いている」93.2%が「そう思う」「だいたいそう思う」と回答しています。伝え合うためにまずは相手の思いや考えをしっかりと聞くことが大切で、「⑧先生や友達の話をしっかり聞いていますか。」には96.7%の児童が肯定的な回答をしています。しかし、「⑦自分の考えをしっかりと話していますか」には85.0%の児童が肯定的な回答をしているものの、15%の児童が「あまりそう思わない」「そう思わない」に回答しています。これは自信のなさや失敗を恐れて発言できなかったり、意見を言う児童に偏りがあり傍観してしまう児童がいたり、うまく言えないのであきらめてしまう児童がいたりすることによるものと考えられます。そこで、授業では、「子どもの思いに寄り添い、意図やこだわりをくみ取って後押しする」「子どもなりの解決を認め、称賛する」といった個に応じた働きかけや、「価値ある問題に気付かせる」「様々な意見を効果的に関連付ける」「創造した事象に対して、より広い発展・活用の方向を示す」といった指導者の発問や助言、ペアやグループでの対話など場の工夫、学習用コンピュータの活用、ホワイトボードやノートに書く・操作するなど話す以外の表現を取り入れるなどに取り組んでいます。



#### 保護者と児童の差があるもの

・児童より保護者が肯定的な回答をしているのは、「①学校は楽しいか」「⑦自分の考えを話しているか」の項目です。この結果を見ると、保護者から見ると「楽しそうにしている」「しっかりと話している」と思われているが、児童本人は「そんなことはないのでは」と自己肯定感が低い児童もいると予想されます。

・保護者より児童が肯定的な回答をしているのは「③直しをしている」「⑥自分の考えを書いている」「⑩読書」「⑫自主学習」項目です。

・「③直し」は学校で済ませることが多く、家庭で直しをしていないか、たくさん直しがありたててしまう児童がいることなどが考えられます。直しは間違いに気付く大切な学習の機会です。「やりぬく」ことは「レジリエンス」の力の育成につながるのだと考えます。

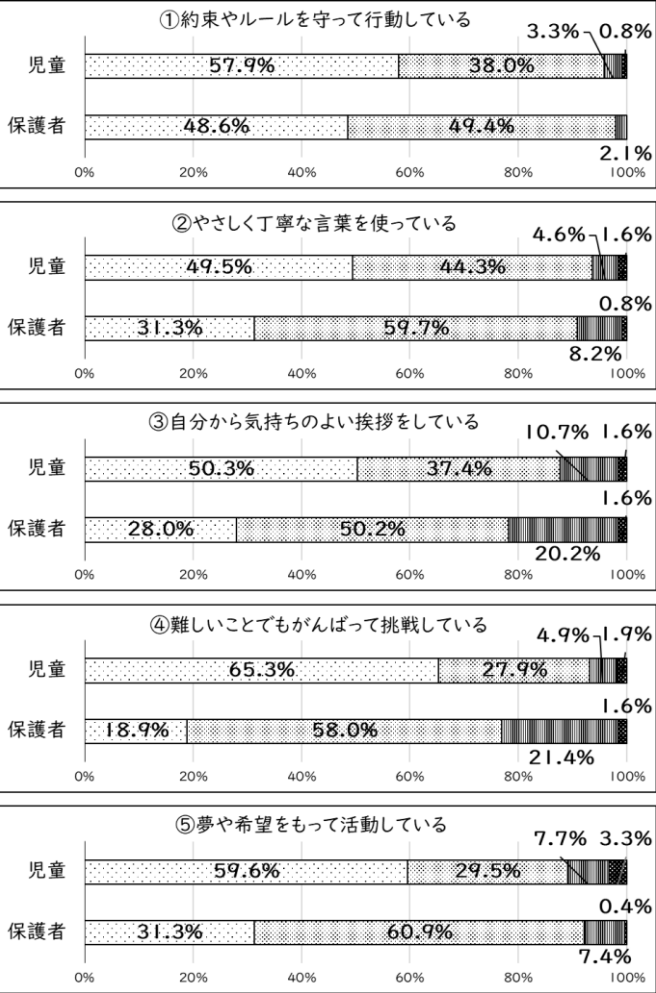
・「⑥自分の考えを書いている」に肯定的な回答が多いのは、本校ではノート検定に取り組んでいることもあり、児童なりにしっかりと書いていると感じているからだと考えられます。しかし、添削のためノートを提出して帰ることも多く、保護者が子どものノートを見る機会が少なかったり、他の児童のノートを見る機会がなかったりして、「わが子はちゃんと書いているのだろうか」と不安になっておられるのかもしれません。グッドノートを掲示している教室もあるので、ぜひお子さんとノートの話をしてみてください。

・「⑩読書」は、最も児童と保護者の回答に差がある（23.9ポイント）項目でした。昨年度どの学年でも「読書100冊マラソン」を達成している子も多く、学校図書館も多くの児童が楽しみにしています。また朝読書の時間には本を手元に落ち着いた10分間を過ごしています。本校は全市の中でも学校図書館の利用率が高く、学校司書による読み聞かせや各教科領域の学習内容に関連した図書の紹介など取り組みを進めています。しかし、家に帰ると本以外に魅力的な「楽しみ」もあり、家庭での読書が難しいようです。情報面だけでなく、本の世界に浸る、疑似体験となるなど情緒面でも、本に親しんでほしいと考えています。

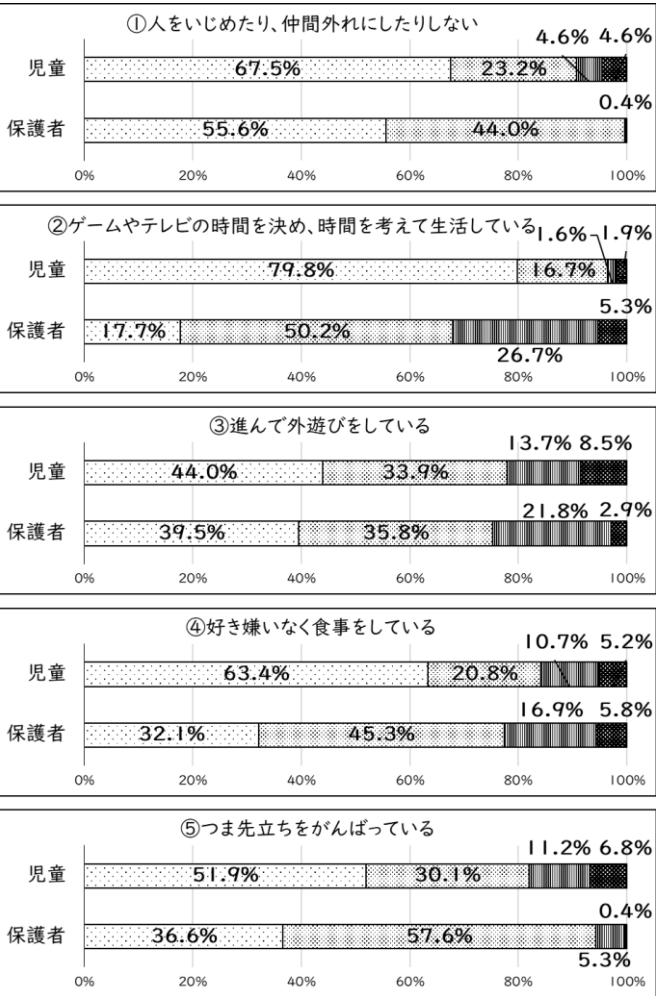


・「⑫自主学習」は昨年と比較すると児童・保護者ともに肯定的な回答が増えてきています。

「豊かな心」の育成に向けて



「健やかな体」の育成に向けて



「豊かな心」の育成に向けて

全体の傾向

- ・「①約束やルール」「②言葉づかい」は児童・保護者ともに「そう思う」「だいたいそう思う」の肯定的回答が多かったです。規範意識が育ってきている嬉しい結果だといえます。
- ・「③自分から挨拶」は児童と保護者の差が9.5ポイント、と保護者がやや低めの傾向にあります。
- ・「④難しいことでも」は児童の肯定的回答93.2%に比べ保護者が77.0%（差は16.2ポイント）と乖離しています。
- ・広沢小学校では、毎月25日にハッピーデーの取組（人権学習）・11月に人権の参観・ネットトラブル対策講座・縦割り活動・にこにこなかよしタイム・読み聞かせ・ハッピー集会などを行っています。

児童と保護者の差

- ・「③自分から挨拶」は、児童は挨拶をしているつもりだが、保護者からすると「もっと自分から気持ちの良い挨拶をしてほしい」と考えておられるということが予想されます。挨拶の大切さや気持ちの良い挨拶については4月のハッピーデーや道徳の内容項目B-(2)親切、思いやりB-(3)友情、信頼、B-(4)感謝、B-(5)礼儀でも学習しています。これも「話す」と同じで、自信のなさや恥ずかしさなどが影響しているかもしれません。大人も手本になりながら、気持ちのよい挨拶をしていきたいと思います。
- ・「④難しいことでも挑戦」は、保護者の前では甘えたい気持ちもあって挑戦している姿が見えにくいかもしれません。学校では、ペアで話した後なら自信が出てきて挙手して発表したり、普段おとなしい児童が班長に立候補したり、友達と一緒に難しい課題にも時間をかけて取り組んだり、試行錯誤しながら問いを解決したりする姿が見られます。昨年の結果と、児童・保護者ともにほぼ変わらないので、3年前から10ポイント以上上がっており、粘り強く取り組む力、困難にも立ち向かう力、そして困難があってもそこから立ち直れる力がついてきたのだと思います。

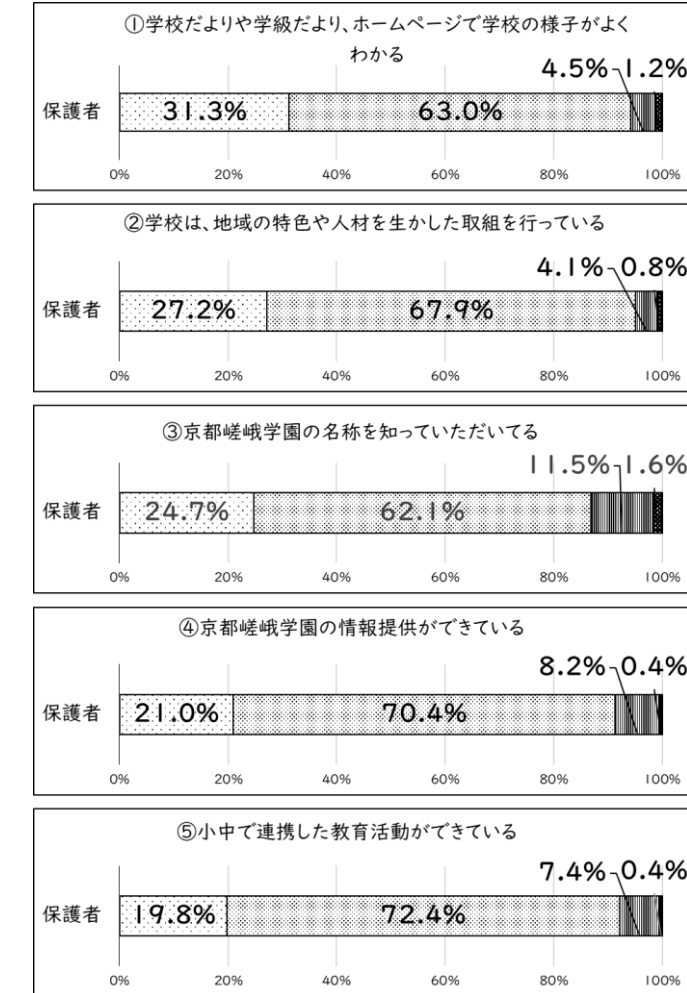


「健やかな体」の育成に向けて

- ・「①いじめ・仲間外れ」は児童・保護者ともに「そう思う」「だいたいそう思う」の肯定的回答が多かったです。
  - ・「③外遊び」はアンケートを行ったのが7月だったため、6月から熱中症指数や気温が高すぎたり、熱中症アラートが出ていたりして「遊べない」日が続いたため児童の「そう思わない」が増えたと考えられます。体育科の学習は7月に保健領域の学習をしたり、冷房の効くトレーニングルームで表現運動やダンスの学習をしたり、教室でGIGA端末を活用してリズムダンスを行ったりしています。児童の「運動委員会」が外遊びを紹介する動画をついたり、イベントをしたりして外遊びを進める活動をしています。
  - ・「④好き嫌いなく食事」の肯定的回答は、児童84.2%、保護者77.4%で、やや低い傾向にあります。
- 給食指導では楽しく食べることを大切に指導しています。自分の食べられる量が分かることも大切で、食べる前に自分で量を調節したり、担任に伝えたりします。栄養教諭による食の学習が年2回あり各学年のテーマで学習しています。
- またPTA主催の給食試食会があり保護者にも京都市の給食について、実際に試食して知ってもらう機会としています。
- 今年度は5年の家庭科で日本料理アカデミーよりプロの料理人の方に来ていただき出汁の授業も行いました。



地域・PTA・京都嵯峨学園との連携について



地域・PTA・京都嵯峨学園との連携について

- ・保護者「①学校の様子がよく分かるか」については、肯定的な回答が94.2%でした。アプリ「すぐー」で学校だよりや学級だよりを配信しています。いつもお読みいただきありがとうございます。
- ・京都嵯峨学園についても、昨年と変わらない傾向で多くの保護者に知っていただいているようです。
- ・今年度から全市的に架け橋プログラムが始まり、本校でも佛教大学附属こども園との連携を深めているところです。

学校運営協議会理事会でのご意見

- ・学習を楽しみと感じてほしい。
- ・あいさつや自分の考えを伝えることは発達段階もあるもので、続けていればいつか気付いてくれることもある。
- ・栽培や調理などの活動で好き嫌いなく食事することにつながるのでは。
- ・学年ごとの分析も必要ではないか。

前期学校評価を終えて

たくさんの貴重なご意見をありがとうございました。今後もよりよい広沢小学校をめざして、歩みを進めてまいります。

